



第2期

智頭町総合戦略 アクションプラン

2020-2024



一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ

第2期智頭町総合戦略アクションプラン

第1期総合戦略では2015年7月から2020年3月までを期間として、「林業・農業を軸とした町民が主役の挑戦し続ける元気なまち」を将来像に掲げ、人口減少による産業の衰退や担い手不足など、様々な課題を解決するために移住定住や雇用の創出、関係人口の増加などに取り組んできました。第2期では、第1期で取り組んできた施策を整理し、取り組むべき事業はさらに発展させ、新たに取り組むべき課題も組み入れて作成しました。また、施策整理を行うにあたり、SDGsの視点を取り入れました。SDGsは、2015年の国連総会で採択された持続可能な開発のための地球全体、世界共通の目標です。SDGsには17の目標がありますが、

それぞれが相互に影響し合っています。町の課題も実は底流でつながっていて、お互いの影響や相互作用を考えながら、解決しなければなりません。目標に向けて、それぞれの立場を理解し、連携して行動につなげることが大切です。

本アクションプランは、第2期智頭町総合戦略の内容をわかりやすく説明しています。自ら行動を起こす時のガイドブックとして活用いただき、町の取り組みに参加いただけると幸いです。



第2期智頭町総合戦略

<http://cms.sanin.jp/p/chizu/kikaku/mezasu/3/>

総合計画とSDGs

2017年度から施行している智頭町第7次総合計画の目指す将来像は「一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ」です。総合計画策定では、多くの町民のみなさんに参加いただきました。策定の課程で導き出されたこの将来像を目指すことは、SDGsの「誰一人取り残さない社会」を目指すこととよく似ています。そして、これらの将来像を実現していくためには、総合計画やSDGsを広く町民のみなさんに知っていただき、深く関わっていただくことが大切です。

以上のことをふまえて、第2期智頭町総合戦略の将来像も「一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ」とし、多くの町民のみなさんに参加いただき、策定を進めました。



第7次智頭町総合計画

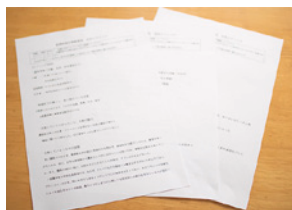
<http://cms.sanin.jp/p/chizu/kikaku/mezasu/5/>

ワークショップの開催



勉強会 PT会議(庁内)

各課から選任されたメンバーによるプロジェクトチーム



ヒアリング

各分野で活躍する智頭町内の23団体へヒアリングを実施



町内ワークショップ

智頭町で実施したい取り組みについてワークショップで検討



戦略とアクションプランの まとめ・PT会議

施策を実現するための具体的なアクションを検討

アクションプランの使い方

アクションプランでは、2025年の智頭町のあるべき未来のイメージを、総合戦略で掲げた6つの施策について文章(ストーリー)とイラストで表現しています。

総合戦略で掲げた「智頭町のあるべき未来」は智頭町で活躍する団体へのヒアリングや、町民ワークショップにより導き出されたものです。これらを実現するためには、智頭町で暮らすみなさんと未来を共有し、一人ひとりができることに取り組んでいくことが必要となります。

ページ構成とワークシートの活用について

アクションプランは、総合戦略で掲げた6つの施策ページ(P3-8)と、戦略を活用するための方法をまとめたページ(P9-10)で構成しています。総合戦略の策定を通じて、住民一人ひとりができるアクションを見つけ出し、それを行動に移していくためのワークシートを開発しました。ワークシートは智頭町のホームページでデータを公開しているとともに、町役場で配布しています。

総合戦略で掲げた6つの施策

施策1 地域とともに健やかに暮らす

施策2 山の暮らし

施策3 智頭の魅力を伝え、智頭が好きな人を増やす

施策4 つながる人財・仕事づくり

施策5 防災

施策6 交通

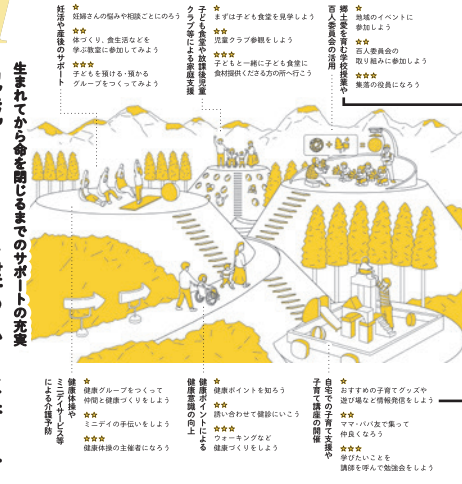
ストーリー

2025年智頭町では、どんな人がどんな思いで暮らしているのか、どのような会話や営みが行われているのか、日常の風景を文章で表現しています。

KPI 重要業績評価指標

KPIは施策・事業の達成度合いを検証するために設定する指標です。2024年までの目標数値を施策ごとに設定しています。

1 地域とともに健やかに暮らす



具体的な取り組み

施策テーマごとに描いた智頭町のあるべき未来のイメージを実現するための、具体的な取り組みを示しています。

アクション

具体的な取り組みを実践していくために、一人ひとりができるアクションを例示しています。すぐにできることから、時間や労力を有することまで、関わりの濃度を☆印(3段階)で示しています。

あるお母さんが、「智頭は本当に子育てがしやすい」と言いました。「人口が少なくても住民同士のつながりがちやうどよい塩梅だし、なにより子どもたちがイキキしている。都会と比較すると便利な暮らしではないかもしれないけれど、人生の土台づくり、生きる力を育むことができる環境は整っている」。退職後のおばあちゃんが「集落のみんなと体操したり、一緒に話をしたり、集まって何かすることが楽しい。人と人とが自然と集まる。一緒に話をして、集まって何かすることが楽しい。人と人とが自然と集まる。一緒に話をして、集まって何かすることが楽しい。人と人とが自然と集まる。」

地域とともに幸せに暮らす姿がどの世代にも見られます。2025年春、智頭町の人口は約5,500人。これまでの急激な人口減少を抑制するための、健康寿命の延伸、定住、移住施策を推進しています。

KPI 2024年までの目標数値 > 出生者数 160人 | 子育て講座 38回 | 移住者 70人

1 地域とともに健やかに暮らす

生まれてから命を閉じるまでのサポートの充実



- 妊活や産後のサポート**
- ★ 妊婦さんの悩みや相談ごとへのろう
 - ★★ 体づくり、食生活などを学ぶ教室に参加してみよう
 - ★★★ 子どもを預ける・預かるグループをつくってみよう

- 子ども食堂や放課後児童クラブ等による家庭支援**
- ★ まずは子ども食堂を見学しよう
 - ★★ 児童クラブ参観をしよう
 - ★★★ 子どもと一緒に子ども食堂に食材提供くださる方の所へ行こう

- 郷土愛を育む学校授業や百人委員会の活用**
- ★ 地域のイベントに参加しよう
 - ★★ 百人委員会の取り組みに参加しよう
 - ★★★ 集落の役員になろう

- 健康体操やミニデイサービス等による介護予防**
- ★ 健康グループをつくって仲間と健康づくりをしよう
 - ★★ ミニデイの手伝いをしよう
 - ★★★ 健康体操の主催者になろう

- 健康ポイントによる健康意識の向上**
- ★ 健康ポイントを知ろう
 - ★★ 誘い合わせて健診にいこう
 - ★★★ ウォーキングなど健康づくりをしよう

- 自宅での子育て支援や子育て講座の開催**
- ★ おすすめの子育てグッズや遊び場など情報発信をしよう
 - ★★ ママ・パパ友で集って仲良くなろう
 - ★★★ 学びたいことを講師を呼んで勉強会をしよう

あるお母さんが、「智頭は本当に子育てがしやすい」と言いました。「人口が少なくても住民同士のつながりがちょうどよい塩梅だし、なにより子どもたちがイキイキしている。都会と比較すると便利な暮らしではないかもしれないけれど、人生の土台づくり、生きる力を育むことができる環境は整っている」。退職後のおばちゃんが「集落のみんなで体操したり、一緒に話をしたり、集まって何かすることが楽しい。人と人が自然と集まる。一緒だとさみしくないね」と言いました。

地域とともに幸せに暮らす姿がどの世代にも見られます。2025年春、智頭町の人口は約5,500人。これまでの急激な人口減少を抑制するため、健康寿命の延伸、定住、移住施策を推進しています。

KPI
2024年までの目標数値

出生者数 160人

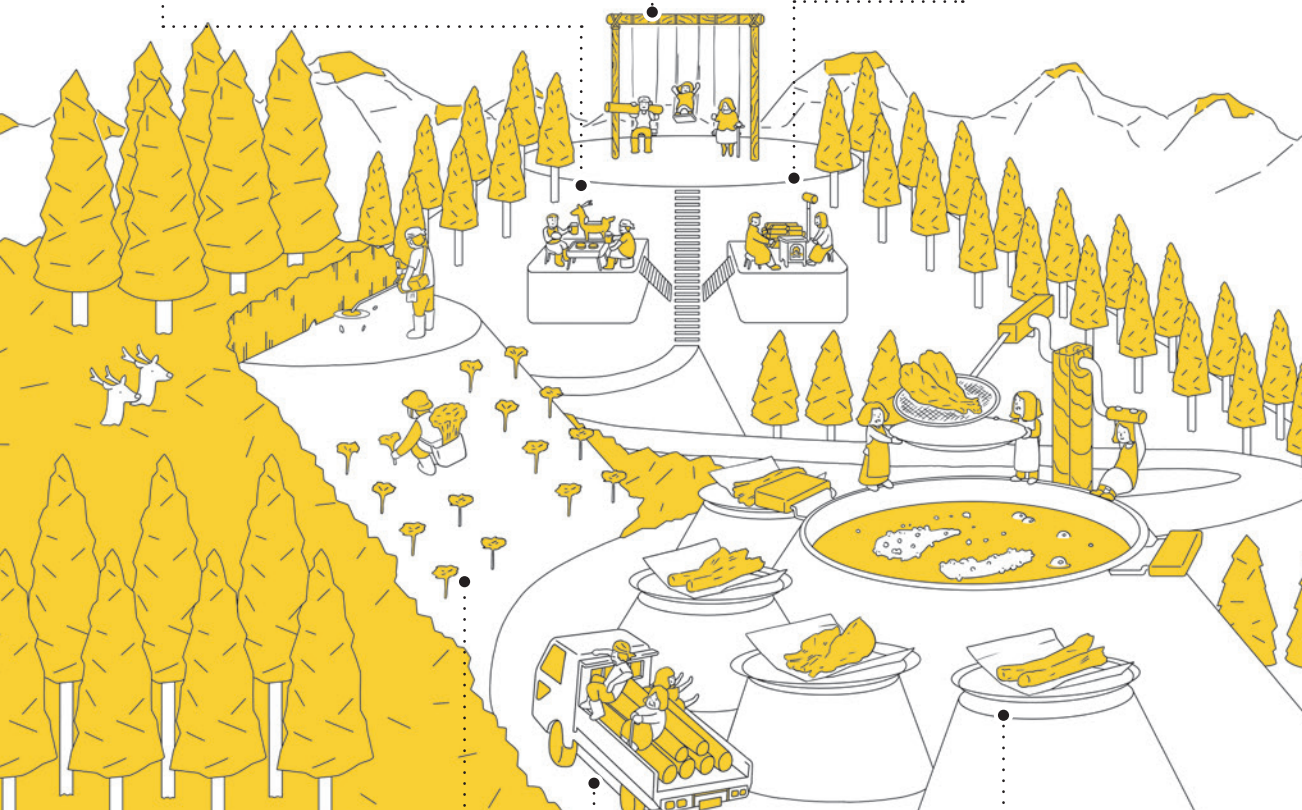
子育て講座 38回

移住者 70人

2

山の暮らし

山の生業を守り、つなぎ、里山で暮らす誇りを育てる



- 鳥獣被害対策の推進**
- ★ 野菜くずを田んぼに捨てないようにしよう
 - ★★ ジビエを食べよう
 - ★★★ 狩猟免許を取ろう

- 持続的な山林経営の担い手の確保・育成**
- ★ 山のことを学ぶ講座に参加しよう
 - ★★★ 木の宿場に参加してみよう

- 適切な森林整備や山林資源の活用**
- ★★★ 智頭産材で家を建てよう
 - ★★ 森林セラビー®に参加しよう
 - ★★★ 森林セラビー®のガイドになろう

- 次世代に繋げていくための農村環境の維持**
- ★ 地元野菜を買おう
 - ★★ 草刈りや農作業を手伝おう
 - ★★★ 集落営農に挑戦しよう

- 林道、作業道の開設、改良及び適切な維持管理**
- ★ 自分の家の農地や山を知ろう

- 「ホンモノの農産物」の供給体制づくり**
- ★ 山菜など山の恵みを楽しもう
 - ★★ 家の農作業を手伝ってみよう
 - ★★★ 智頭の農産物を町外の人にすすめよう

智頭町は一昔前、林業が盛んでたくさんの人が潤っていました。古き良き時代を知るおじいちゃんはいいます。「鳥取の飲み屋でツケがきくのは智頭の人だけだったわ」と。それぐらい潤っていたんです。

しかし、今林業だけで食べていくにはとても大変です。山の価値が驚くほど下がったけど、智頭は手入れがされている山がたくさんあり、その山並みは美しく、眺めるだけでホッとします。この豊かな自然環境を守りつづけ、林業や農業とともに智頭町の文化も育まれました。

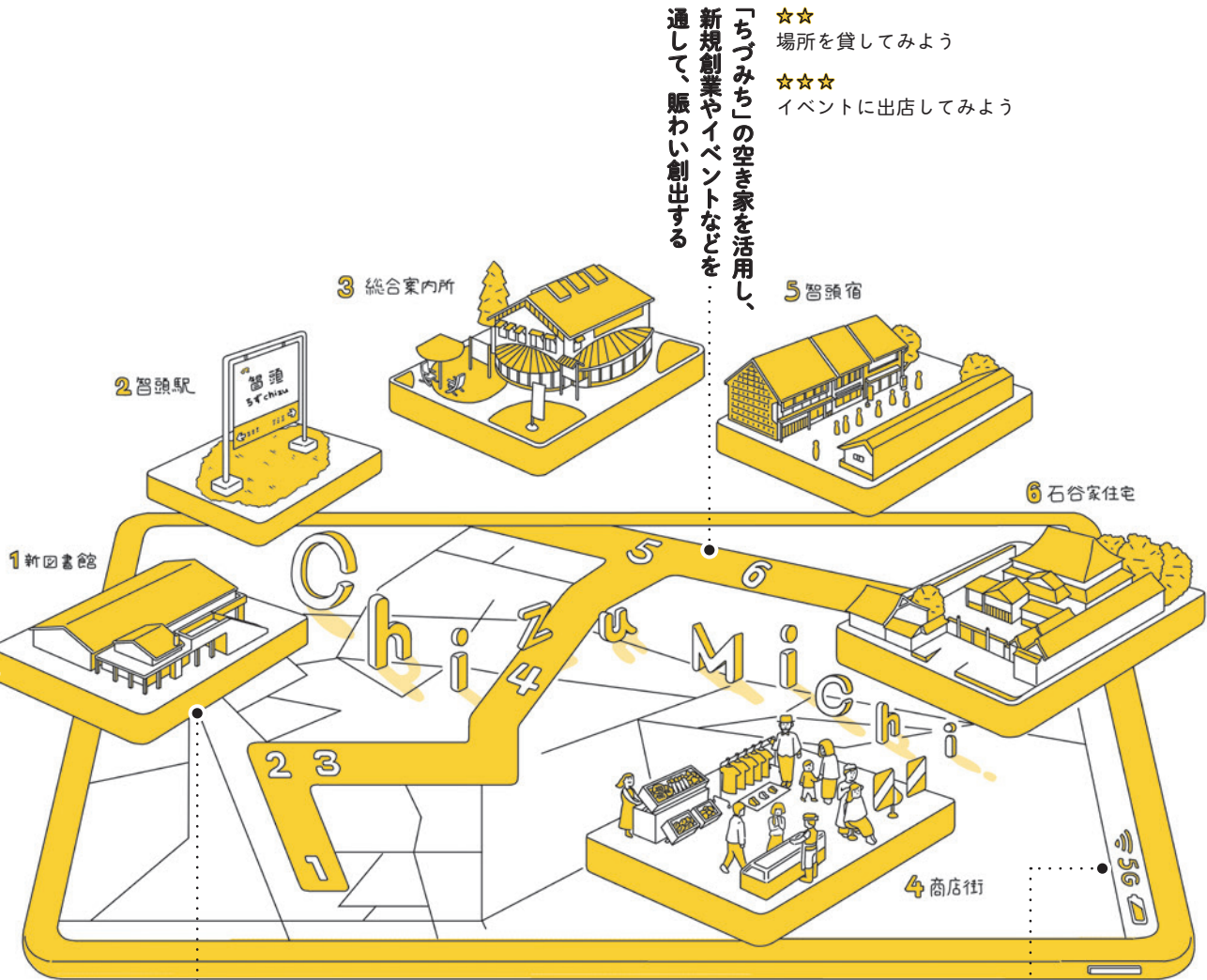
2025年春、林業に携わりたい多くの若い人が多く智頭を訪れ、集落の祭りは賑やかです。そんな姿を目指し、山の生業を守り、つなぎ、里山で暮らす誇りを守ります。

KPI 2024年までの目標数値 > 新規林業従事者 **70人** | 人・農地プランを策定した集落 **15集落** | 移住者 **5人**

3

智頭の魅力を伝え、智頭が好きの人を増やす

自然の恵みとつながり、生活文化を丁寧に伝え、次世代に受け継ぐ取り組み



「ちづみち」の空き家を活用し、新規創業やイベントなどを通して、賑わい創出する

☆☆ 場所を貸してみよう
☆☆☆ イベントに出店してみよう

新智頭図書館の地域資料コーナーの充実とまちとつながる事業実施

- ☆ 新図書館を利用しよう
- ☆☆ 郷土資料を提供しよう

智頭の暮らしを丁寧に伝える民泊を推進

- ☆ 友達に遊びに来てもらおう
- ☆☆ 郷土料理を教えよう
- ☆☆☆ 民泊家庭に登録しよう

麒麟のまち圏域連携事業

- ☆ イベント情報などまちの魅力を発信しよう
- ☆☆ 空き家バンクに登録しよう
- ☆☆☆ 観光ガイドをしよう

林業の繁栄とともに智頭の商店街も賑やかでした。定期的な市では、たくさんの品物が並び近隣からも多くの人やってきました。子どもの声があちこちで聞こえ、そこらじゅうが遊び場でした。近所のおばちゃんやおじちゃんが見守りながら躰も教えてくれました。

智頭には良い意味で近代化されていないところが多くあります。今も残る昔ながらの生活様式は、立派な観光資源です。

2025年、商店街には智頭の人、外からやってきた人、若い人、歳を重ねた人、さまざまな人が入り交じって賑やかです。変化と進化を織り交ぜながら、これまでの生活文化を丁寧に伝え、次世代に受け継ぐことは、私たち智頭町民の使命です。

KPI
2024年までの目標数値

観光入り込み客数 **12万人/年**

図書館来館者数 **1.6万人/年**

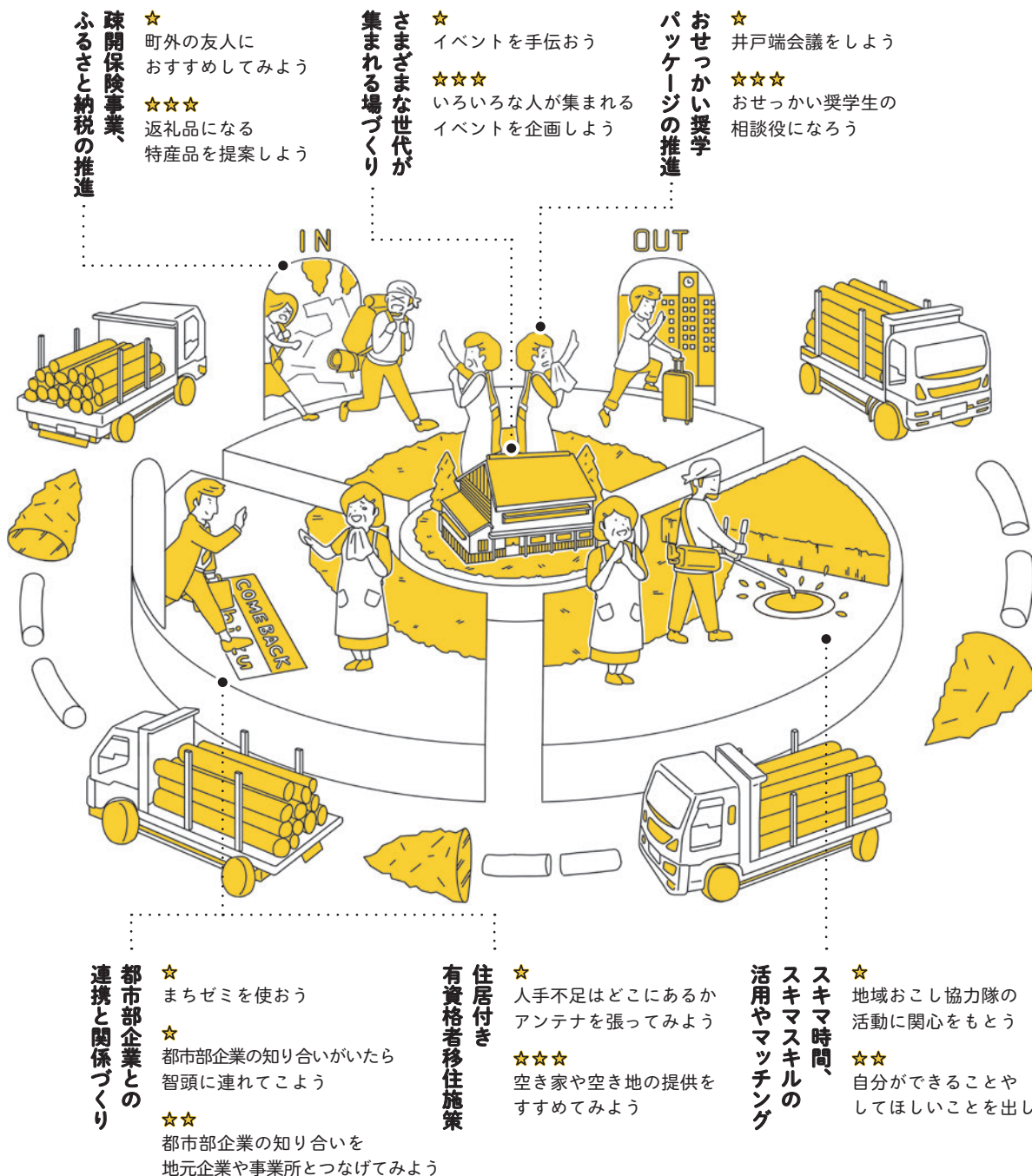
民泊利用者数 **500人/年**

移住者数(ちづみち) **5人**

4

つながる人財・仕事づくり

人や仕事の垣根をとり、つながりやすい仕組みをつくる



- ★ 井戸端会議をしよう
- ★★★ おせっかい奨学生の相談役になろう

おせっかい奨学パッケージの推進

- ★ イベントを手伝おう
- ★★★ いろいろな人が集まれるイベントを企画しよう

さまざまな世代が集まれる場づくり

- ★ 町外の友人に おすすめしてみよう
- ★★★ 返礼品になる特産品を提案しよう

疎開保険事業、ふるさと納税の推進

- ★ 地域おこし協力の活動に関心をもとう
- ★★★ 自分ができることやしてほしいことを出し合おう

スキマ時間、スキマスキルの活用やマッチング

- ★ 人手不足はどこにあるかアンテナを張ってみよう
- ★★★ 空き家や空き地の提供をすすめてみよう

住居付き有資格者移住施策

- ★ まちゼミを使おう
- ★ 都市部企業の知り合いがいたら智頭に連れてこよう
- ★★ 都市部企業の知り合いを地元企業や事業所とつなげてみよう

都市部企業との連携と関係づくり

一昔前までは、林業、農業を生業としていました。近代化により、会社で勤める人が増えました。村で生活をするために人がつながり、支える仕組みも高齢化により難しい状況になってきました。智頭で暮らすことは人とつながることなくしては考えられません。人とのつながり、自然とのつながり。人口が減っても人情味のある人が減らないまちを目指したい。

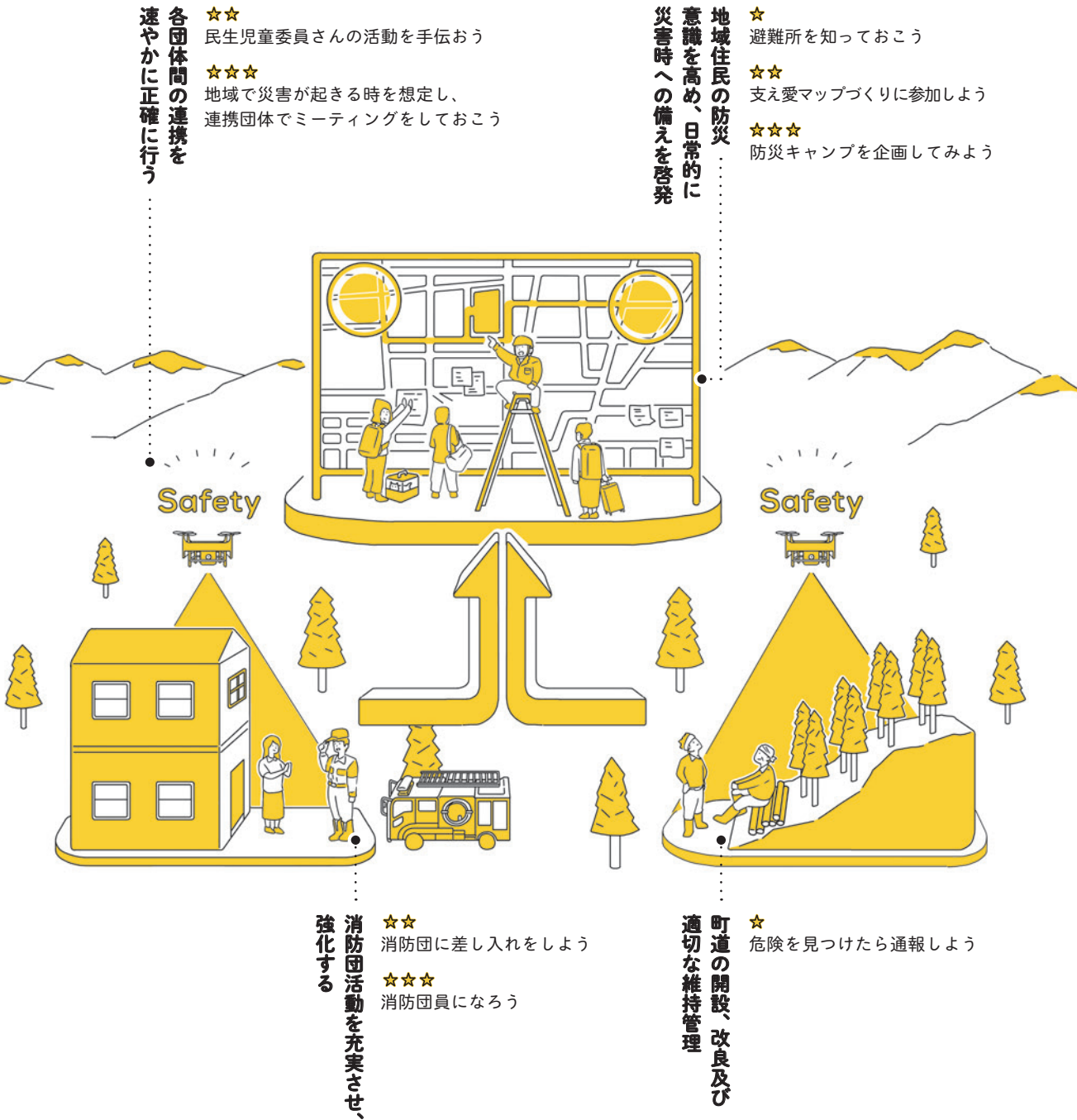
2025年の智頭町では、「おせっかい」という言葉の定義は、「出しゃばって周りの人の世話を焼く」から「共に寄り添って周りの人を幸せに」へと変わっています。

そんな町には、たくさんの人が関心を持ち、訪れます。そこから新しい仕事生まれ、田舎の魅力が世界に発信されていきます。

KPI 2024年までの目標数値 > 雇用の創出 10人 | 疎開保険加入者数 200人 | おせっかい奨学パッケージ寄付額 500万円 | 移住者数(有資格者移住施策と仕事づくり) 5人

5 防災

防災情報の迅速な伝達方法



近年、自然災害が全国で発生し、その規模もこれまでの想定以上です。災害や火事が起これば、一番に地元消防団が駆けつけます。鳥取県内でも随一の加入率を誇る智頭町消防団は地域の安全・安心を支える中心です。また、支え合いマップ作成率も県内で最も高いため、逃げる場所、サポートする人など自治会、民生委員、消防団、住民が共通した情報をもってれば、災害が発生してもスムーズに連携できるはずです。

2025年には、災害だけでなく、普段からそれぞれの役割を理解し、寄り添い、つながる地域となっています。

KPI
2024年までの目標数値



支え愛マップ(災害
図上訓練DIG)作成率 **75集落** (85%)

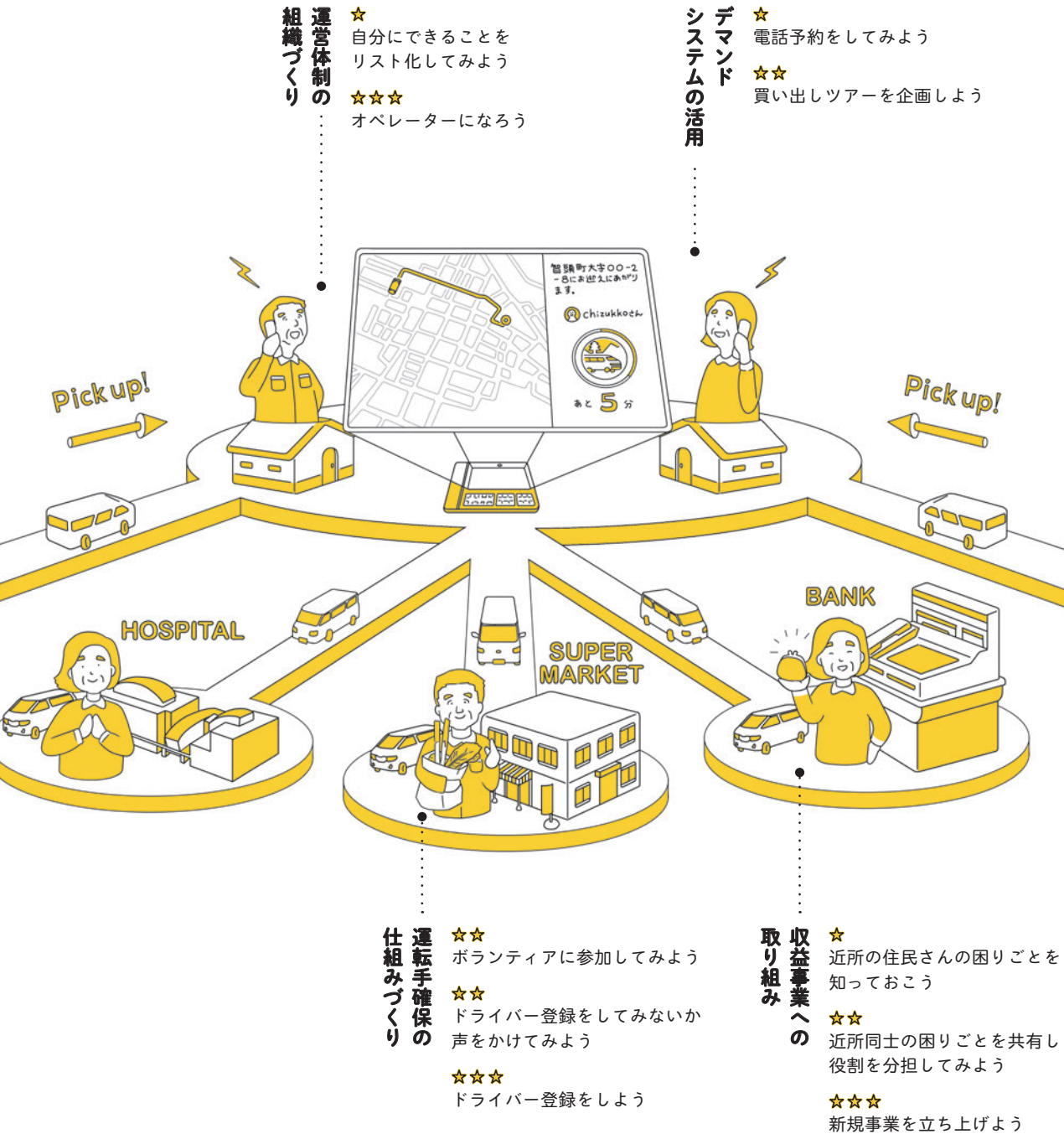
消防
団員数 **400人** (人口比 6.5%)

自主防災
組織数 **75組織**

6

交通

住民の力を結集し、ICTを活用したきめ細やかな交通体系の構築



車がない頃は、みんながなんとかしていました。バスに乗ったり、自転車に乗ったり。一人一台の車を持つようになった今、車に乗れなくなった時に困る時代となりました。智頭の良さは「おせっかい」「地域のつながりがあること」。今こそ、智頭の良さを活かし、新しい交通体系をつくっていきましょう。隣のおばちゃんが「買い物に行くから一緒に病院まで乗っていく？」そんな会話が聞こえてくる交通の仕組みを考えられたら。

2025年には、次世代告知端末を使った予約システムも組み入れて、人のぬくもりを感じる交通の仕組みができあがっています。

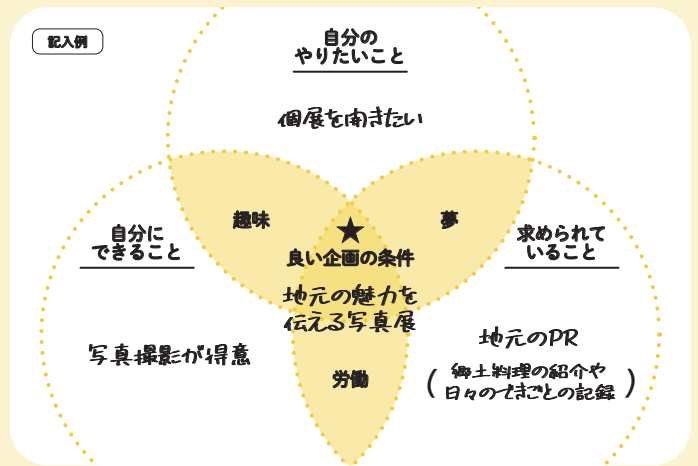
あなたにできるアクションを見つけよう！



1 企画を考える「3つの輪」をつくろう！

企画を考えるときに大切な視点として「3つの輪」という考え方があります。やりたいこととできることであっても、求められていることでなければ「趣味」、やりたいことと求められていることであっても、できることでなければ「夢」、できることと求められていることであっても、やりたいことでなければ「労働」となってしまいます。

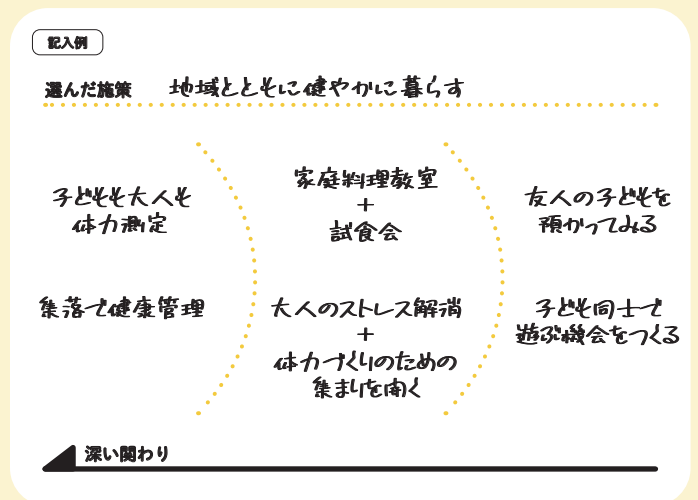
「やりたい!」という気持ちを大切に、自分のできることや誰かのためになるちょっといいことを考えてみましょう。



2 アイデアを実現させるためにできることを考えよう！

やりたいことに関連する施策のページを参考に、アイデアを実現させるためにできることを考えてみましょう。例えば、「地域とともに健やかに暮らす」というテーマに興味があれば、そのページに記載されている具体的な取り組みからできることを探し、さらにあなたならではのアクションを考えてみましょう。

また、深く関われることから、ちょっとしたことまで関わりにはグラデーションがあります。それも考慮しながら整理していくといいでしょう。まずは簡単に関われることから始めてみるのがいいかもしれません。



完成したら...

百人委員会に
持って行って
参加してみよう!

企画書をつくろう!

企画アイデアのイメージができれば、具体的に進めていくために企画書にまとめましょう。企画書とは、タイトル、目的、企画の内容、必要な資源、実施に向けたスケジュールを端的にまとめたものです。

記入例

タイトル

集落みんなが元気に暮らそう!

目的や内容

選んだ施策

地域とともに健やかに暮らす

目的・内容

目的: 集落のみんなが自然と家族となれたらいいな。

内容: 集落のみんなが家族のように自然に気遣いあえる関係をつくる。健康でいきいき暮らすためには、基礎疾患があっても、気持ちが元気であることが大切。血圧や血糖値、コレステロール値などはなく、元気指標をつかって、元気観察をする。

企画の実現に向けて必要な人や資源

- ・集落の人
 - ・元気観察をする
 - ・とりまとめをする人
 - ・集まりなどを主催する人
- ※元気指標の予想
食欲・人と話がして楽しい・眠れている・畑ができる・勉強、読書ができる

スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
集まる・話し合う	元気指標洗い出し	役割決め方法決め	元気観察開始		2ヶ月間の振り返り
10月	11月	12月	1月	2月	3月
秋まつり開催					まとめ

ファーストステップ 集落の協力者を募る

Point

企画のタイトルは重要です。タイトルを見ただけで企画の内容が伝わるようなものが理想的です。シンプルでキャッチーなタイトルを考えましょう。

Point

必要な人材や情報を明確にしておく、さまざまな方向から支援を得られるなど、企画を進めていく際に役立ちます。

Point

企画を実現していくためには、何をいつまでに実施するかスケジュールを決め、実践していく必要があります。まずは、1年間の実施可能なスケジュールを検討してみましょう。

アクションシートや企画シートをダウンロードしよう!

智頭町HPからご覧いただけます。
(<http://cms.sanin.jp/p/chizu/kikaku/mezasu/3/>)



第2期

智頭町総合戦略 アクションプラン 2020-2024

2020年9月30日 発行

発行 智頭町役場企画課
鳥取県八頭郡智頭町大字智頭2072番地1

企画・編集 studio-L (林彩華、厚毛佑太)

イラスト 塩原和也

印刷・製本 グラフィック株式会社

Printed in Japan ©2020 智頭町 All right reserved

本書の内容はすべて、著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、智頭町および株式会社studio-Lから文書の許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製、複製することは禁じられています。